

変調機能の設定方法

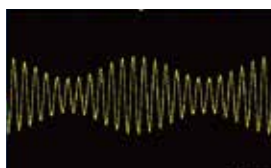
変調機能とは、基本信号（キャリア信号）の振幅、周波数、位相などを、変調信号に沿って変化させる機能です。ここでは、以下の3種類の変調をご紹介します

- 周波数変調（FM：Frequency Modulation）：基本信号の周波数を、変調信号の波形や周波数に沿って変化させます。
- 振幅変調（AM：Amplitude Modulation）：基本信号の振幅を、変調信号の波形や周波数に沿って変化させます。
- パルス幅変調（PWM：Pulse Width Modulation）：基本信号のデューティ比を、変調信号の波形や周波数に沿って変化させます。

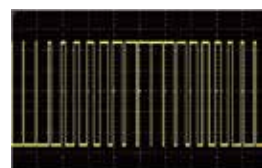
▶ 紹介する変調機能



FM



AM



PWM

設定手順

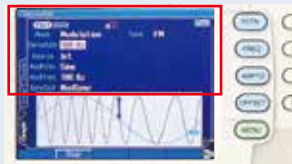
1 初期化

※必須ではありません。
2以降の手順で設定して
正しく出力されない場合、
初期化してください。



- ① [Menu] キーを押し、[Utility] を選択
- ② [Reset] を選択し、ダイアログで [OK] を選択

2 設定



- ① [Mode] を選択し、**Modulation** に設定
- ② [Freq] を選択し、**周波数**を設定
- ③ [Amptd] を選択し、**振幅値**を設定

*FM、AMでは波形 [Fcht] は正弦波、PWMでは方形波を選択

- ③ [Next] キーを押し、2ページ目に移動

④ 各項目を設定（設定例）

	[Type]	[Deviation/Depth]*	[ModFctn]	[ModFreq]
FM	FM	120Hz	Square	40Hz
AM	AM	35%	Sine	20Hz
PWM	PWM	40%	Sine	40Hz

*FM、PWMではDeviation、AMではDepthを設定します。

※Source(変調源)はすべてInt(内部)

3 出力



[Out] キーを押し、出力波形を確認します。